

2020年9月10日
 南海電気鉄道株式会社
 和歌山県事業承継ネットワーク

【南海沿線の中小企業のイノベーションを支援！】

— 和歌山県事業承継ネットワークをパートナーに加え、2020年12月に、若手後継者(アツギ)を対象とした、新事業のアイデアづくりイベント「南海沿線アツギソン vol.2 in WAKAYAMA」を開催 —

南海電気鉄道株式会社（社長：遠北 光彦、以下「南海電鉄」）では、和歌山県事業承継ネットワーク（事務局：和歌山商工会議所）等との共催で、南海沿線（なんば以南の南大阪エリアと和歌山県全域）の中小企業・商店等のアツギを対象とした新事業のアイデアづくりイベント「南海沿線アツギソン vol. 2 in WAKAYAMA」を、2020年12月11日（金）～13日（日）に開催します。

今回は、新たに「和歌山県事業承継ネットワーク」をパートナーに加え、和歌山市駅直結の複合施設「キーノ和歌山」を会場として、和歌山県内のアツギに対するアプローチを拡充します。また、南海電鉄と大阪信用金庫（理事長：高井 嘉津義）で、沿線企業イノベーション支援に関する連携協定を締結し、アツギの支援体制を強化します。

なお、本イベントは、中小企業等の若手後継者およびその候補（アツギ）の新規事業開発等を支援する「一般社団法人ベンチャー型事業承継（代表理事：山野 千枝）」が企画・運営を行い、後継者支援に取り組む様々な企業や団体の協力を得て開催します。

詳細は、別紙のとおりです。



昨年の南海沿線アツギソン開催時の様子

別紙 「南海沿線アトツギソン vol. 2 in WAKAYAMA」について

(1) 概要

南海電鉄が、和歌山県事業承継ネットワーク等との共催で、南海沿線（なんば以南の南大阪エリアと和歌山県全域）の中小企業・商店等の若手後継者およびその候補を対象として開催する新事業のアイデアづくりイベントです。

(2) 日程

2020年12月11日（金）～13日（日）（計3日間）

1日目（19時00分～22時00分）：事業アイデア発表、チームビルディング

2日目（9時00分～22時00分）：チーム単位で事業プラン検討

3日目（9時00分～20時30分）：公開プレゼンテーション・審査、ネットワーキング

※ 開始・終了時刻は、変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、オンラインでの開催に変更する場合があります。

(3) 会場

和歌山市駅直結複合施設「キーノ和歌山」オフィス棟
「南海和歌山市駅ビル」（住所：和歌山市東蔵前丁3-17）

(4) 対象者

34歳未満の、南海沿線（なんば以南の南大阪エリアと和歌山県全域）に親族の営む事業所のある中小企業・商店等の、跡継ぎまたはその候補

※ まだ跡を継ぐことを決めていない社会人や学生の方も対象に含みます。

(5) 定員

30人

(6) 参加費

無料

(7) 参加申込方法

「南海沿線アトツギソン WEB サイト」からお申込みください。

URL：<http://www.nankai.co.jp/contents/atotugithon2020/>

(8) 参加申込受付期間

2020年9月10日（木）～11月11日（水）

※応募者多数の場合、厳正に審査し参加者を決定します。

(9) 副賞・参加特典等

- ・優秀提案チームには、副賞として、南海電鉄の車両内のポスターにて、公開プレゼンテーションで発表したビジネスアイデアおよびチームメンバーを紹介します。
- ・その他、協賛企業や団体等から副賞や参加特典等を用意する予定です。

(10) 公開プレゼンテーションの観覧

最終日の公開プレゼンテーションは、事前にお申込みいただいた方に観覧（無料）していただけます。

観覧申込みは、上記の「南海沿線アトツギソン WEB サイト」で、公開と同時に受け付けを開始します。

(11) 共催・協賛・協力

主 催：南海電鉄、和歌山県事業承継ネットワーク、大阪府事業承継ネットワーク

企画・運営：一般社団法人ベンチャー型事業承継

特別協賛：大阪信用金庫

協 賛：野村証券株式会社、平和酒造株式会社

協 力：和歌山県、和歌山市、大阪府、堺市、岸和田市、近畿経済産業局、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社関西みらい銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社池田泉州銀行、株式会社南都銀行、きのくに信用金庫、新宮信用金庫、株式会社日本政策金融公庫 堺支店・和歌山支店・田辺支店、株式会社商工組合中央金庫、公益財団法人堺市産業振興センター、株式会社さかい新事業創造センター、和歌山大学 産学連携イノベーションセンター、大阪府立大学、大阪大学 共創機構、けいはんなリサーチコンプレックス推進協議会、南大阪・和歌山の商工会議所（堺、高石、泉大津、岸和田、貝塚、泉佐野、和泉、和歌山、海南、田辺、新宮、御坊、橋本、紀州有田）、和歌山県商工会連合会、南大阪・和歌山の商工会（忠岡町、熊取町、泉南市、阪南市、岬町、大阪狭山市、富田林、河内長野市、下津町、紀美野町、紀の川市、那賀町、岩出市、かつらぎ町、高野口町、九度山町、高野町、湯浅町、広川町、有田川町、美浜町、日高町、日高川町、由良町、みなべ町、印南町、白浜町、牟婁、中辺路町、龍神村、大塔村、本宮町、上富田町、日置川町、すさみ町、串本町、南紀くろしお、古座川町、北山村）（順不同）
※協賛および協力企業・団体等につきましては、2020年9月10日現在の情報です。
今後、さらに追加になる可能性があります。

(12) その他

公開プレゼンテーションについては、改めてご案内いたします。

(13) お客さまのお問い合わせ先

アトツギソン運営事務局

TEL：03-5577-3234

MAIL：event@take-over.jp

【ご参考①】アトツギソンについて

(1) アトツギソンとは

親族が事業を営む34歳未満の若者（アトツギ）が、自分たちの家業の経営資源を活用した新事業のアイデアづくりをするイベントのこと。特定のテーマについて当日集まったメンバーでアイデアを出し合い、所定時間内でブラッシュアップしていくイベント「アイデアソン」（「アイデア」と「マラソン」を組み合わせた造語）がベースになっています。アトツギソン参加者は、家業を継続発展させるための新事業のアイデアづくりや、同志となるアトツギや支援者とのネットワークづくりを目的に参加しています。

(2) なぜ南海がアトツギソンを

南海電鉄では、沿線定住人口の社会増の実現に向けて、沿線の魅力的な就業機会を維持・増加させるため、沿線企業の事業拡大や後継者の事業承継を支援する「沿線企業イノベーション支援」に取り組んでいます。

その一環で一般社団法人ベンチャー型事業承継等と共に「南海沿線アトツギソン」を昨年初開催しました。

(3) アトツギソンのプログラム

アトツギソンは、連続した3日間で開催します。まず、初日に、各参加者が家業の経営資源を活用したアイデアを発表し、チームを組成します。2日目は、世代交代を機に事業を変革させた経営者がコーチとして参画し、チーム単位で事業アイデアをブラッシュアップさせていきます。最終日には、チームごとに一般来場者の前で、家業を活用した新たな事業プランを発表します。

【ご参考②】企画・準備状況の情報発信

今後「南海沿線アトツギソン vol. 2 in WAKAYAMA」の企画・準備などの状況について、一般社団法人ベンチャー型事業承継が運営するSNS「アトツギU34」で随時発信しますので、ご覧ください。

「アトツギU34」facebook URL：<https://www.facebook.com/atotugi34/>

「アトツギU34」Twitter URL：https://twitter.com/atotugi_34

「アトツギU34」note URL：https://note.com/atotugi_34

「アトツギU34」Instagram URL：https://www.instagram.com/atotugi_34